

汚染防止

土壌・地下水汚染状況の調査と浄化

富士フィルムでは、土壌・地下水汚染に関して自主的な環境調査を実施しています。生産事業所で使用され、環境基準値が定められている物質については、使用・在庫管理及び排水管理を厳重に行うと同時に、地下水水質の定期的なモニタリングを実施し、万一の事態が発生したとしても迅速な対応がとれるような管理を行っています。

富士フィルムグループでこれまでに実施した生産事業所を中心とした自主調査の結果を下表に示します。

富士フィルム足柄工場・小田原工場で土壌から環境基準を超える物質が検出されましたが、両工場とも速やかに行政機関に届け出て、地域の方々への説明会を行うとともに、汚染された土壌の掘削・搬出及び清浄土の入れ替えにより浄化を完了しています(詳細データは富士フィルム環境レポート2002年版に記載)。

富士ゼロックス岩槻事業所・竹松事業所でも同様に浄化を完了しています。

富士写真光機では2000年10月に実施した自主調査の結

果、敷地内の地下水から環境基準値を上回るテトラクロロエチレン、トリクロロエチレンを検出したことから、地域の方々へご説明しながら浄化対策、近隣民家の井戸水検査を継続して行っており、その経緯に関してはホームページ(<http://www.fujinon.co.jp/jp/news/repo.htm>)で公開しています。

フジカラーサービスで2001年度より進めてきた自主調査の結果、大阪事業所(堺市)で土壌環境基準値を上回る全シアン、総水銀、鉛を検出しました。2003年1月に自治体への届け出と周辺自治会への説明を行い、直ちに浄化対策を実施しました。シアンに関しては過去に使用履歴があり、その際の漏洩が原因と考えられますが、水銀、鉛の汚染原因は特定されていません。全シアン、総水銀については土壌の入れ替えを、また鉛については舗装、芝張りなどの飛散防止対策を行い、2003年4月までに全ての工事を完了しました。なお、地下水を通した周辺地域への汚染拡散はありませんでした。

事業所名	調査完了時期	汚染の有無	物質の種類	浄化方法	浄化状況
富士写真フィルム					
足柄工場	2001/11	有り(土壌)	B	土壌入替え	2002/3完了
富士宮工場	2001/3	なし			
小田原工場	2001/6	有り(土壌)	B	土壌入替え	2002/1完了
吉田南工場	2001/3	なし			
宮台技術開発センター	2001/3	なし			
朝霞研究所	2000/12	なし			
富士ゼロックス					
海老名事業所	1998/5	なし			
岩槻事業所	1996/3	有り(土壌/地下水)	A, B	土壌浄化 揚水処理	2002/3完了 2003/3完了
竹松事業所	2000/7	有り(土壌)	A, B	土壌入替え	2001/7完了
中井事業所	1998/8	なし			
関係会社事業所(3ヶ所)	2002/3	なし			
富士写真光機					
岡谷富士光機	1998/11	なし	A	揚水処理	浄化中
水戸富士光機	1997/11	なし			
佐野富士光機	1999/9	なし			
富士フィルムアーチ	2001/11	なし			
富士機器工業	2002/4	なし			
富士フィルムフォトニクス	2001/10	なし			
富士フィルムマイクロデバイス	2001/10	なし			
富士テクニス	2002/3	なし			
フジカラーサービス					
大阪事業所	2002/11	有り(土壌)	B	土壌入替え	2003/4完了
その他事業所(9ヶ所)	2002/11	なし			
エフ・アイ・テイ	2001/6	なし			

A : 揮発性有機化合物
B : 重金属類